



広げよう夢、伝えよう私たちの心、あなたの声を県政へ

ひょうご県議会だより

平成28年度
秋号

No.111

第333回(9月)
定例県議会

平成27年度兵庫県一般会計歳入歳出決算などの決算案件を認定

—審議日程 平成28年9月23日～10月26日(会期34日間)—

9月定例県議会の概要

◎知事提案説明

9月23日の開会日には、条例改正などの議案が上程され、井戸知事が提案説明を行いました。

◎代表・一般質問

9月28日の本会議では、各会派を代表して4人の議員が質問を行い、29日からは、3日間にわたり、15人の議員がそれぞれの立場から一般質問を行いました。(→2面、3面参照)

◎決算特別委員会を開催

10月3日の本会議では、平成27年度決算を審査する決算特別委員会を設置しました。同委員会は10月4日から21日にかけて詳しく審査を行い、平成27年度の決算関係議案21件を原案どおり認定すべきものと決しました。

◎議案などを審議・可決

最終日の10月26日の本会議では、決算関係の議案を認定しました。この定例会では、議案44件、意見書案10件、決議案1件を可決した他、4件の請願を採択しました。(→3面参照)

○可決した議案などの詳細は、ホームページをご覧ください。



「眺望」(竹田城址)
佐子 邦江さん(神戸市須磨区在住)の作品
—第30回鈴懸の径絵画展(主催／(公財)兵庫県芸術文化協会)受賞作品より—

9月定例県議会の主な審議日程

9月23日(金) 本会議(開会)	・議案上程 ・知事提案説明 等	10月4日(火) 常任委員会	付託議案審査
9月28日(水) 本会議	代表質問(4人)	10月4日(火)～21日(金) 決算特別委員会	付託議案審査
9月29日(木) 本会議	一般質問(5人)	10月6日(木) 本会議	・委員長報告(条例、その他 議決案件) ・討論、表決 ・追加議案上程 等
9月30日(金) 本会議	一般質問(5人)		
10月3日(月) 本会議	・一般質問(5人) ・決算特別委員会設置	10月26日(水) 本会議(閉会)	・委員長報告(決算案件等) ・討論、表決 等

議会広報

○県議会ホームページでは、県議会の最新情報や議会中継などもご覧になれます。

兵庫県議会

検索

<http://www.hyogokengikai.jp/>

○県議会フェイスブックでは、県議会の最新情報をご覧になれます。

<https://www.facebook.com/hyogokengikai>



○スマートフォンによる本会議録画配信を行っています。



○県議会広報PRキャラクターによる広報を行っています。

ひょうごはかせ
兵議博士です。



決算特別委員会委員名簿

役職	氏名	会派
委員長	高橋 しんご	自民
副委員長	谷井 いさお	公明
委員	榎野 孝人	無所属
	向山 好一	県民
	奥谷 謙一	自民
	中田 慎也	自民
	岡 つよし	自民
	伊藤 傑	自民
	越田 浩矢	自公
	住吉 寛紀	公維
	小西 彦治	維新
	浜田 知昭	自民
	黒川 治	自民
	石川 憲幸	自民
	長岡 壯壽	自民
	黒田 一美	自民
	いそみ 恵子	県共産
委員	越田 謙治郎	県民
	松田 一成	公明
	山口 晋平	自民
委員	釜谷 研造	自民

※委員は議席順。
※県議会での会派略称
自民…自由民主党、公明…公明党・県民会議、
県民…ひょうご県民連合、維新…維新の会、
共産…日本共産党、無所属…無所属

問

その他の質問

●出産直後の女性の心身の変化
を見据えた支援の充実について
●市川流域圏の総合治水対
策について

A

平成30年の兵庫県設置150
周年を契機に全県事業や地域
シンボル事業、ビジョンづくりに
取り組む。県民の一体感を醸
成する「県民の日」も、県民の意
見を聞き検討していく。

Q

県政150周年事業で「県
民の日」を制定しては。

五島 壮一郎（自由民主党）

A

県民自ら考え実践する防災力
強化県民運動、防災リーダーの
育成、南海トラフ地震に備えた
防波堤の沈下対策などの取組
を県民と共有し、安全・安心な
兵庫の実現を目指す。

Q

災害時の適切な行動に向け
た防災・減災対策の共有。

天野 文夫（公明党・県民会議）

A

社会全体が政治に関心を寄せ、
民主主義の根幹をなす選挙の
意義と一票の価値への理解が深
まるよう、各種選挙の機会ごと
に政治を学び、理解を深める取
組を行う。

Q

有権者が選挙に関心を持
つための取組を伺う。

山口 晋平（自由民主党）

A

花粉の発生源対策、林業振興を
通じた花粉総量の抑制が抜本
的な対策であると考えするため、
今後、特に針葉樹林と広葉樹林
の混交林化や皆伐・再造林を進
めていきたい。

Q

花粉症被害抑制に向けた
取組について伺う。

前田 ともき（ひょうご県民連合）

A

姫路・和田山間の直通運行が可
能で、かつ高速性や快適性を備
え、実用化に向け研究が進む蓄
電池車両の導入を、沿線市町と
ともにＪＲ西日本に働きかけて
いる。

Q

蓄電池車両の導入でＪＲ
播但線の利便性向上を。

安福 英則（自由民主党）

その他の質問

●県立美術館無料化の検討
について
●パチンコ台の不正改造防止
について

その他の質問

●県下市町の保育料の実態
について
●広域連携の推進による誘
客促進について

代 表 質 問

A

子育て支援策としては、今年度か
ら第2子以降の保育料軽減も行
い、中堅所得層まで広げるなどの
経済負担の軽減策に取り組んでい
るほか、補正予算で自然増・社会
増対策の事業のさらなる強化を図
り、出会いから結婚・子育てまでの
取組と、若者の安定的な雇用・就業
につながる取組を着実に推進し、
兵庫らしさをアピールしていく。

Q

人口増対策を実効あるものと
するため、特に自然増に力点
をおいた対策の一層の推進を
図るべきではないか。

自由民主党（高橋 しんじ）

A

「異なる文化や価値観を理解し、
国際社会の平和や発展に貢献する
力」を培うため、学習指導要領に基
づいて、平和に関する学習を各学
校で展開している。今後、各学校の
優れた取組を広く周知し、平和に
関する学習の更なる充実を図り、
そうした取組を進める中で、推進
計画についてその必要性も含めて
研究する。

Q

平和教育を次期「ひょうご教
育創造プラン」の柱の一つとし、
平和教育推進計画を策定
して、充実を図るべきでは。

公明党・県民会議（伊藤 勝正）

A

ＵＪターン対策の展開が地域創
生の鍵を握ると考えている。県内高
校卒業生の大学卒業時の進路デー
タは把握されていないので、文部科
学省の大学等を対象とした学校基
本調査の項目に、卒業後の就職に伴
う居住地の移転先を追加するよう
要望する。また、県外大学へのアン
ケート調査の実施などデータ把握
に努め、若者の県内定着を図る。

Q

県内出身者の高校・大学卒業時
の進学先、就職先を把握し、効
果あるＵターン就職施策を展開
すべきと考えるが、所見を伺う。

ひょうご県民連合（栗山 雅史）

A

インクルーシブ教育システム構築
のため、多様な学びの場を用意し、
総合的な判断により最もふさわし
い就学先を決定している。また、障
害のない児童生徒との交流の機会
を様々づくり、共生社会の実現に
向けて必要な能力や態度の形成を
図っている。今後とも、共生社会実
現に向けた特別支援教育の充実に
努めていく。

Q

全員参加型の社会の構築に向
け、今後、兵庫県が取り組むべ
きインクルーシブ教育システ
ムについて、所見を伺う。

維新の会（樽谷 彰人）

その他の質問

●地域の元気づくりの実現に向
けた中小企業の振興について
●国際交流の更なる推進について
●兵庫県立大学の更なる飛躍に
向けた改革のあり方について

その他の質問

●若者の政策形成過程への参画
の推進について
●障害者施設の安全管理体制の
確立について
●豊かな海の再生について

その他の質問

●ホームドアの設置促進について
●児童相談所の体制強化につい
て
●学校ホームページによる情報発
信について

その他の質問

●グループファイナンスにおける公
社債引受のせい弱性と県債管
理基金の疑問点について
●待機児童の解消について
●兵庫県の経済成長戦略につい
て

可決した主な議案など

条 例

- ▶使用料及び手数料徴収条例及び警察手数料徴収条例の一部を改正する条例
- ▶恩給条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例
- ▶公立大学法人兵庫県立大学の設立等に関する条例の一部を改正する条例
- ▶家畜保健衛生所設置条例の一部を改正する条例
- ▶兵庫県立考古博物館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
- ▶兵庫県警察本部の組織に関する条例の一部を改正する条例

以上6件を可決しました。

そ の 他 の 議 決 案 件

- ▶平成28年度兵庫県一般会計補正予算
- ▶教育委員会の委員の任命の同意など計17件を可決しました。

決 算 案 件

- ▶平成27年度兵庫県一般会計歳入歳出決算の認定
- など計21件を認定しました。

決 議

- ▶北朝鮮のミサイル発射及び核実験実施に抗議する決議
- を可決しました。

意 見 書

- ▶高齢障害者が安心して暮らせるサービスの提供を求める意見書
- など計10件を可決し、関係省庁などに送付しました。

請 願

意見書提出を求める計4件の請願を採択しました。

※可決した議案などの詳細はホームページをご覧ください。

一 般 質 疑

その他の質問 ●未だ知られていないものづくり企業の掘り起こしについて ●商店街組織の役員後継者育成について	A 高齢者の横断実態をはじめ交通環境等の変化を踏まえ、信号機の時間調整を行うなど、効果的に交通安全施設を運用し、高齢化社会に対応した交通安全対策を推進していく。	Q 高齢者道路横断時の交通安全対策について伺う。 福島 茂利（自由民主党）
その他の質問 ●女性活躍の一層の促進について ●認知症対策の総合的な推進方策について	A 院内のがん相談支援センターのアプリアランスサポートセンターとしての標榜も含め、都道府県がん診療連携拠点病院として、相談支援体制の充実を検討していきたい。	Q アピアランスサポートセンターを設置しては。あしだ 賀津美（公明党県民会議）
その他の質問 ●ふるさと意識を醸成する兵庫県民歌の制定について ●神戸西部地域における東西交通の円滑化に向けた取組について	A 神戸西警察署を含む警察署施設について、耐震性能の確保を図った上で、施設状況、県内の人口動態や治安情勢の変化、住民の利便性等を総合的に勘案し、整備を着実に進める。	Q 西区役所移転を見据えた神戸西警察署のあり方は。石井 秀武（ひょうご県民連合会）
その他の質問 ●子ども医療費助成の拡充について ●禁煙支援、防煙教育、受動喫煙防止の推進について	A 行革プランの総点検で検討を進め、企画部会案の策定に当たっては、委員会でのご意見や行革審議会、県民会議からの意見等とあわせ、その趣旨を参酌して取り組む。	Q 行革により削減された県民サービスを回復すべき。きだ 結（日本共産党）
その他の質問 ●550万人県民総活躍社会の実現に向けた雇用・就業の促進について ●ふるさと兵庫の未来像について	A 「この1年で兵庫の未来を決める」くらいの想いをもって、あらゆる力を総動員しつつ、地域資源を生かした魅力ある地域づくりに挑み、戦略を着実に推進していく。	Q 兵庫の地域創生への挑戦に向けた知事の決意は。釜谷 研造（自由民主党）
その他の質問 ●防災関係機関の集積、防災庁の創設について ●公共交通ネットワークの充実について	A 来年3月の改正道路交通法の施行に伴い、高齢運転者の更新手続、制度が大きく変更されるため、その状況も見極めながら、更新窓口の在り方について、十分に検討したい。	Q 運転免許証の更新地域の見直しを検討できないか。仲田 一彦（自由民主党）

議会トピックス

○平成28年度地方議会協議会(7月11日、8月16日)

兵庫県議会と市議会議員会、町議会議員会の代表者が、地域課題の解決策を話し合う「兵庫県地方議会協議会」を開催しました。



地域創生元年である今年度から、会議の活性化を図るため、2回開催となりました。

第1回の会議では、地域創生の実現に向けたテーマをそれぞれの代表者から提案し、テーマ選定の意図や問題意識を共有しました。

第2回の会議では、テーマについて意見交換を行い、その成果を発信、実践することを通じて、地域創生の実現を目指します。

○エメックス会議訪問団によるロシア連邦訪問

(8月21日～26日)

世界閉鎖性海域環境保全会議の第11回会議が開催されるロシア連邦サンクトペテルブルク市を、藤本副議長を団長とする訪問団が訪問し、会議に出席するとともに、環境関連施策の事例などの調査を行いました。



○インターンシップ高校生、大学生と議長の意見交換会

(8月26日、9月6日)

県庁に就業体験に来ていた高校生と大学生が議長との意見交換を行いました。



高校生との意見交換会では、若者が地元を離れていく現状や、若者の県議会への関心を高める方法などについて、率直な意見や大胆なアイデアが出されました。



大学生との意見交換会では、若者の地元への関心を高める方法や、県議会や政治に関心を持つ方策などについて、活発な意見交換が行われました。

○近畿2府8県議会議員会(8月31日)

近畿2府4県に三重、福井、徳島、鳥取の4県を加えた2府8県議会の正副議長が、情報共有と共通課題について協議する会議が、昭和44年から開催されており、今年度は「県立淡路夢舞台国際会議場」で開催されました。



会議では、国民一人ひとりが活躍できる社会の実現をテーマに意見交換を行うとともに、保育士等の処遇改善など17項目について、共同して関係機関に要望していくことを決定しました。

行財政構造改革調査特別委員会による「第3次行革プラン」の総点検を行っています

「第3次行革プラン」の策定から3年目を迎える今年度は、行財政構造改革の推進に関する条例に基づき、社会経済情勢の変化などを踏まえ、プランの全項目について総点検を実施しています。県議会では、「行財政構造改革調査特別委員会」を6月定例会で設置し、同委員会委員12名により、現行プランの取組を検証するとともに、次期プランの見直しに向けた議論を行っています。

議会を活用したサテライトゼミの受け入れを行います

県議会では、県内大学のゼミ学生が、正副議長や議員とともに日頃の調査研究や実践活動に基づき政策議論を行う生きた学習の場として活用していただける「県議会サテライトゼミ」の受け入れを始めます。

平成29年度の授業カリキュラムでの活用を希望される場合は、下記までお問い合わせください。

問い合わせ先 兵庫県議会事務局総務課総務班
TEL 078-341-7711(内5027)

県議会プレゼントクイズ



議会広報PRキャラクター
「兵議博士」

Q 県議会の主な会議には、議員全員が出席して開かれる「本会議」と、少数の議員で構成される「委員会」とがあります。さて、委員会のうち、前年度の決算を審査するため、例年9月定例会で設置されることが通例となっている委員会は次のうちどれでしょうか？

※商品の発送をもって当選発表と代えさせていただきます。※お預かりした個人情報は商品の抽選及び発送以外の目的には使用いたしません。

ア. 決算特別委員会 イ. 予算特別委員会 ウ. 行財政構造改革調査特別委員会

正解者の中から抽選で10名の方々に、阪神・淡路大震災記念「人と防災未来センター」(神戸市中央区)のペア入場券をプレゼントいたします。

はがきに、クイズの答え、〒住所、氏名、電話番号、「県議会だより」についての感想を記入の上、平成28年12月2日(金)(消印有効)までに、下記宛てにお送りください。

〒650-8567(住所記入不要) 兵庫県議会事務局調査課
●兵庫県議会ホームページからも応募できます

次回12月定例会県議会は12月上旬～中旬に開催される予定です。

編集・発行



兵庫県議会

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号
☎078-341-7711(代) FAX.078-362-9031